

# まちづくり委員会

- 担当副理事長名：大崎 厚郎
- 委員長名：牧田 芳明
- 副委員長名：今村 広太郎、松永 充広
- 委員名：大森 啓田、坂本 創志、津田 康有、野村 亮介、二見 宏史、御代川 洋平
- 作成者名：牧田 芳明

## 1. 委員会活動方針

市外からの流入人口の増加と既存住民の高齢化、そして全国的な少子化の波、鎌倉というまちは今、次世代におけるまちづくりの原動力の増加が求められています。その為には、今までまちに携わっている人々だけでなく、より多くの人々が自発的に関わっていくことが必要だと考えます。そして我々は、その為により多くの人々にまちの魅力を伝えて、関心を持ってもらう必要があります。そこで本年度まちづくり委員会では、まちの特色を学び、魅力を考えていき、次世代に伝えていく活動をしてまいります。

はじめに、鎌倉は特色の強いまちであり、その特色がいかなるものかを会員自身が知らなければなりません。そして、その特色を活かした魅力を考える必要があります。そこで、鎌倉の特色を学び、魅力について考える為の事業を開催いたします。次に、その学んだ魅力を対外へと発信する為に、第48回慈善茶会を開催いたします。ご来場いただきます多数のお客様に鎌倉のまちの魅力を伝え、まちに興味を持っていただき、関わっていくきっかけといたします。そして、その後、第48回慈善茶会にご協力いただきました関係諸団体の皆様に感謝し、信頼をより深くするために懇親会を開催いたします。最後に鎌倉に住む次世代を担う子供たちが今後、まちに興味を持ち自発的にまちに関わってもらう為に、我々の学んだ特色を活かした魅力を、子供たちと共に体験をして、共有し、子供たちがまちにより強い関心を持ち、まちに関わっていけるようになる為の事業を開催いたします。

事業を通じて会員一人ひとりが、鎌倉の特色について理解を深め、魅力を考え、次世代に伝えることは、いままで積極的にまちに関わってきた以外の人々がまちの魅力に気づき、関心を持つきっかけになると考えます。そしてそれは様々な人々が自発的にまちに関わっていくことに繋がり、ひいては今年度当会議所の目指す「今こそ挑もう明るい未来に向けて」のもと、まちが「明るい豊かな社会」となる為の一助になると確信します。

## 2. 委員会事業計画

- (I) まちの特色を学び、魅力を考える事業の開催
  - (a) 内容：講演会並びに勉強会の開催
  - (b) 時期：2016年 2月
  - (c) 対象：会員を対象に40名程度並びに入会希望者
  - (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

(Ⅱ) まちの特色と魅力を発信するための事業の開催

- (a) 内 容：第48回慈善茶会の開催
- (b) 時 期：2016年 5月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度並びに入会希望者、OB、来訪JC、市民、学生  
協働団体関係者、茶道関係者
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

(Ⅲ) 関係諸団体との信頼関係を深める事業の開催

- (a) 内 容：第48回慈善茶会後の懇親会の開催
- (b) 時 期：2016年 5月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度並びに入会希望者、OB、学生、協働団体関係者  
茶道関係者
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

(Ⅳ) まちの特色と魅力を、次世代を担う子供たちに伝えるための事業の開催

- (a) 内 容：市民参加の体験事業の開催
- (b) 時 期：2016年11月
- (c) 対 象：会員を対象に40名程度並びに入会希望者、市民
- (d) 結果の公表：ホームページ並びに総会資料に掲載

**3. 共通実施事項**

- (a) 会員拡大の実施
- (b) 渉外事業への参画、参加